

自己評価報告書(最終報告)

報告者

自然系コース(理科)／小汐
千春

■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが(平成24年8月28日)、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

1. 目標・計画

大学での授業は、学問についての深い知識と理解を持たせるとともに、科学的なものの考え方をきちんと身につけさせることが肝要である。従って、授業内容・授業方法については、最先端の知見をふまえた上で、それを体系的に解説するとともに、その知見を得るための科学的な立証方法や、その知見の持つさまざまな側面についてより深く解説する。成績評価については、単なる知識を問うのではなく、体系的に理解しているかを問い、また、それに対して論理的に答えられているかについて評価を行う予定である。

2. 点検・評価

「生物学の基礎」、「中等理科(生物学分野)」および生物学実験I・IIIにおいて、目標に沿った授業および学生の評価を行った。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

大学の学部や大学院での教育とは、高校までのような与えられるものではなく、自分から進んで探求するものである。従って、卒業研究や修士課程の課題研究は非常に重要である。自分自身が直接指導する学生のみならず、まわりの学生たちに対しても、研究に関してさまざまなアドバイスを与え、研究を面白いと感じさせることに力を入れたい。

2. 点検・評価

生物学分野の学生・院生による卒業研究および修士課程の課題研究の指導を上記の目標に沿った形で行った。

Ⅱ－2. 研究

1. 目標・計画

現在進行しているウメスカシクロバおよびカミキリモドキ類の研究を今年も推進する。

2. 点検・評価

ウメスカシクロバについては論文が1本出版された。カミキリモドキ類についても研究は順調に進行し、二つの学会の全国大会において発表を行った。更に、論文一本を執筆した。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

委員会やコースでの仕事を誠意を持って遂行する。

2. 点検・評価

振興会の仕事およびコース会計の仕事をきちんと遂行した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

今年も教職10年経験者研修を行う予定である。また、学外から専門分野についてのアドバイスを求められたり、講演を依頼されたりした場合は適切に対処する。

2. 点検・評価

教職10年経験者研修を行った。また、学外からの問い合わせ等については適切に対処した。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

--